

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.111 2003. 12

<http://www.recycledesign.or.jp>  
Eメールmail@recycledesign.or.jp

# リサイクルデザイン

特集

「子ども環境会議」&「環境絵日記発表会」

— リサイクルデザイン大賞 —



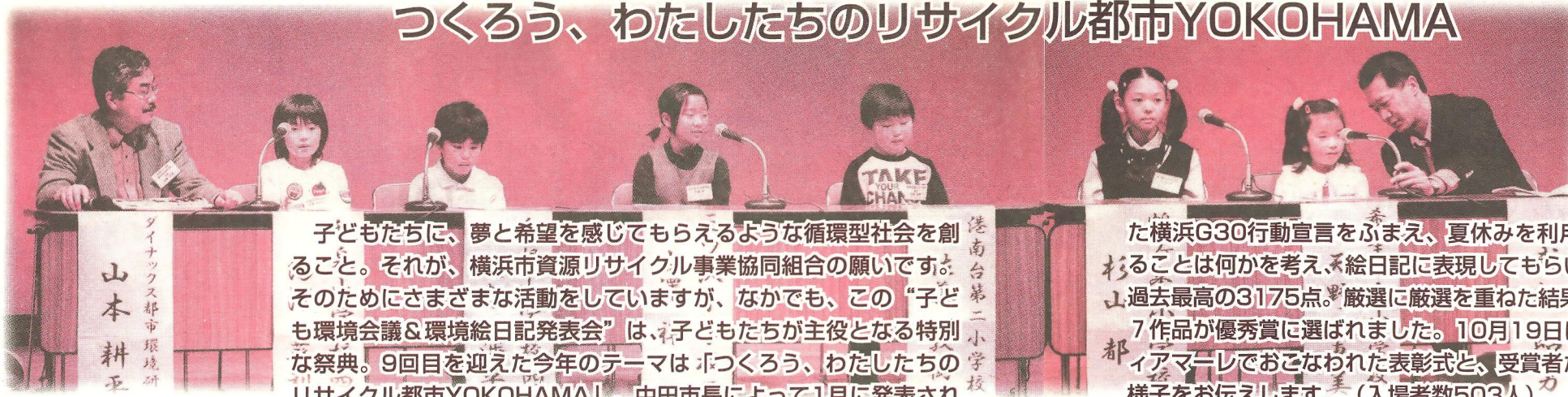
和泉小学校 4年 湯澤 葵利久  
8月10日 日曜日 天気 晴れ  
わが家のG30の第一歩は物を大切に使うことです。  
私の場合は、おさがりを使っている。例えば、自転車は、いところからもらった物で、十年乗っている。テニスラケットは、いところのお姉さんからもらった物で、ボロボロでかっこ悪いけど新しいのはいらない。  
一年生の時からずっと鉛筆はキャップをつけてもっと小さくなったならもう一本小さいのをくっつけて使っていた。  
お母さんは大根の葉っぱまでムダなく使う。  
お父さんは、自分でかわぐつの「かかと」をしゅう理してはいている。はい材で、しゅう理の台まで作ってしまった。  
物を大切に使っているんだと思った。



# 子ども環境会議 & 環境絵日記発表会

つくろう、わたしたちのリサイクル都市YOKOHAMA

環境絵日記応募総数は  
過去最高の3,175点



子どもたちに、夢と希望を感じてもらえるような循環型社会を創ること。それが、横浜市資源リサイクル事業協同組合の願いです。そのためにさまざまな活動をしてきましたが、なかでも、この「子ども環境会議 & 環境絵日記発表会」は、子どもたちが主役となる特別な祭典。9回目を迎えた今年のテーマは「つくろう、わたしたちのリサイクル都市YOKOHAMA」。中田市長によって1月に発表され

た横浜G30行動宣言をふまえ、夏休みを利用して自分たちにできることは何かを考え、絵日記に表現してもらいました。応募総数は、過去最高の3,175点。厳選に厳選を重ねた結果、203作品が入賞し、7作品が優秀賞に選ばれました。10月19日に、はまぎんホールヴィアマーレでおこなわれた表彰式と、受賞者たちによる環境会議の様子をお伝えします。(入場者数503人)

## 進行役

横浜市資源リサイクル事業協同組合  
武松 昭男

## コメンテーター

ダイナックス都市環境研究所  
所長・山本 耕平さん

## パネラー

湯澤 葵久さん  
和泉小学校4年

坂森 渉平さん  
白根小学校4年

天野 恵美香さん  
希望ヶ丘小学校1年

杉山 都さん  
鶴ヶ峯小学校5年

佐藤 敦樹さん  
港南台第二小学校4年

古澤 祥さん  
三ツ沢小学校5年

## はじめの言葉

環境問題という大きなテーマに沿って、子どもたちが自分たちの将来をどう考えているのかということが、集まった作品のなかに十分反映されていると思います。父母のみなさんも、ぜひ、お子さんの成長とともに、これからの地球環境について深い関心をお寄せください。横浜市とわれわれリサイクル業界が目指すところについて、ご理解をいただきたいと思います。

横浜市資源リサイクル事業協同組合  
会長・中野 聡恭

## 第一部 子ども環境会議

## 横浜市のごみは

武松：こんにちは。今日は、壇上のお友だちだけでなく、会場に集まってくれたみなさんにも一緒に考え、発言していただきたいと思っていますから、どうぞよろしく。まず初めに、テーマになったG30についてお話ししましょう。(—6人のパネラーに、ランドマークタワーを描いた紙を12枚掲げてもらいました—) 今、横浜市で1年間に処理しているごみの総量は166万トン、ランドマークタワー12個分なんです。ところで、横浜G30行動宣言というのは、渉平くん、なんだっけ。

## 1年にランドマーク12個分!?

坂森：2010年までにごみの量を30%減らす活動です。  
武松：そうだね。すると、ランドマークタワー何個分を減らせば良いのかな。  
杉山：4個分……。  
山本：正確には3.6個分、だいたい4個分だね。  
武松：私たちがどんな工夫をしたらごみが30%減らせるのかということについて、これから一緒に考えていきましょう。まずは山本さんから、現在の横浜のごみについてお話しいただきます。



横浜市長賞

横浜市会議長賞



横浜市教育委員会賞

横浜市環境事業局長賞

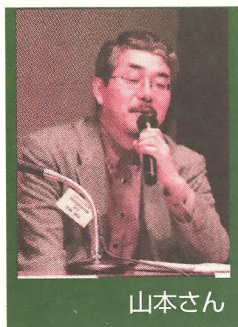


白根小学校 4年 坂森 しょう平  
8月10日 火曜日 天気 雨  
ぼくは、あるハンバーガーショップに行くと手を洗った時に、手をふく紙がありました。ごみ箱の中を見ると、その紙が、たくさん入っていました。その時、ぼくは思いました。「一人一人がハンカチを持っていれば、紙を捨てなくていいのに。」  
食後終わった時もごみがでました。お母さんと話して、「コップを紙に包むとごみになるけど、ガラスやプラスチックはごみにならないし、くり返し使える。」という話をしました。「そういふうちに、一人一人がまず、ごみがへばるなあって、これと聞いて。ぼくも、何がごみか、これから考えていきたいと思います。」

希望ヶ丘小学校 1年 天野 恵美香  
8月2日 土曜日 天気 晴れ  
わたしのひいおばあちゃんはおじいちゃんとはちまちまです。まだつかえをつなものは、もったいないといひます。きかなくなったうぶくやきもので、さぶとんの力や力や力をつつたり、みづをぬぐったりします。わたしのうぶくもつくりなすくれま。とごみにつくすでリサイクルのていだいごもつて。

鶴ヶ峯小学校 5年 杉山 都  
8月28日 木曜日 天気 晴れ/曇り  
横浜市では、今出されているごみの量を、7年後に30%減らすようになっています。それがG30計画です。だから、通学路近のゴミ置場に出されているごみの量を見ても、私は7年も待ってられないと思います。  
また、ごみ袋の中には、ごみやカン、ペットボトルや雑誌などの資源がくぐり込んでいて、このごみ袋が汚れてしまっています。G30を目指すためには、このごみ袋を汚さない、名前をつけない、ごみ袋の口をしっかりと閉める、に無責任に人ごみを汚さない、これです。  
私の家では、ティッシュやお風呂の箱、包、そう紙なども雑誌と一緒に紙類として出せることを知り、「ごみの量が少なくなりました。分別をきちんとする。レジ袋もつかわない。食べ残しをしないなど、みんなが少しずつでも「ごみの減量化」に努力すれば、ごみは減ります。金も減るので、その分、金のために使えて横浜の町はもっと輝く町になると思います。  
めいめいみんなG30!

豊岡小学校 5年 今村 絵理  
8月22日 金曜日 天気 晴れ  
今日資源ごみ回収の日  
「ごみダイエー作戦」にチャレンジャー。おなかのマークをおぼえてマークごとに、分けて捨てようね!「ごみを分けずに捨てるとうすすれんジャーが動いて、注意するよ!」  
「わたしは「にやんにやん分別5リンジャー」おなかのマークをおぼえてマークごとに、分けて捨てようね!」ごみを分けずに捨てるとうすすれんジャーが動いて、注意するよ!  
集めて再利用に協力しよう。  
回収された再生品に「ハンシー」正しく分けて「にやんにやん分別5リンジャー」おなかのマークをおぼえてマークごとに、分けて捨てようね!「ごみを分けずに捨てるとうすすれんジャーが動いて、注意するよ!」



山本さん

場がなくて、干潟を処分場にしようという案が出た。すると市民が「干潟の貴重な生き物を守ろう」と熱心に

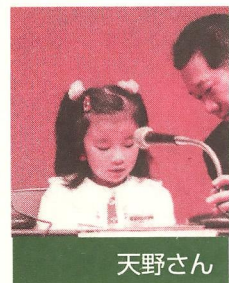
運動したんです。で、市長さんが「じゃあ、みなさんは干潟を守るためにごみを減らしてくれますか？」って。市民はがんばってこれに応えました。1年間で25%も減らしたんですよ。一人あたり、かつては横浜と同じぐらいの1200グラムほどのごみを出していた

のが、今は900グラム以下になりました。横浜市も、他の町に負けないようにがんばりましょう、ということでG30の計画が作られたんです。さて、ごみの中身について見てみると、紙類が39%で一番多い。生ごみは29%。残りはプラスチックなどの燃えないものです。

## ● みんな、どんな工夫でG30を進めているの ●

**武松：**みんなのお家では、ごみを減らすためにどんな工夫をしていますか。

**坂森：**ペットボトルや牛乳パックをリサイクルしたり、お店のトイレでは、使い捨ての紙で手をふかないようにしています。短くなったえんぴつは、ホルダーに入れたりしてぎりぎりまで使っています。



天野さん

**天野：**白い紙や包装紙のような、まだ使えるものはなるべく捨てないし、野菜のごみは庭に埋めています。

**武松：**恵美香ちゃんは絵日記におばあちゃんのことを描いたよね。おばあちゃんは今、おいくつ？

**天野：**96才です。

**武松：**お元気なんだね。

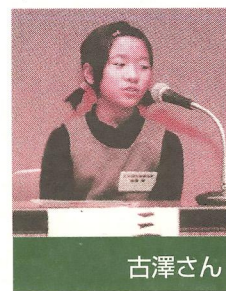
**天野：**はんとんとか、ざぶとん、お手玉なんかを作ってくれます。

**武松：**心のこもった手作りの物を使うというの、環境問題やリサイクルを身近にとらえる良いきっかけになりますね。

**佐藤：**ぼくは新発売のお菓子を買わずとごみが増えちゃうので、食べられる分だけ買うようにしています。

**湯澤：**私は買い物に行ったとき「袋はいりません」と言ったり、お店に置いてある小さい袋はなるべく取らないようにしています。

**武松：**余計な物をお家に持ち込まない、必要な分だけ、というのはG30の基本だね。



古澤さん

**古澤：**うちでは、牛乳やしょうゆはびん入りを使っています。なくなったら洗ってまた使えるからです。

**武松：**リユース、再使用を心がけて

いるんですね。

**杉山：**私の学校では、このあいだフリーマーケットがあつたんですが、先生が出

していたお店では食べ物を入れる容器が洗って何回も使えるものだったので、ごみが減らせて良いなあと思いました。

**武松：**9月下旬に、環境に関する展示会があつてドイツへ行ったんですが、お店では基本的に“はだか売り”なんです。包装されていないし、袋もくれない。なのについっかり袋を忘れて

買い物に行っちゃったんです。いつもは気にしていたのに、恥ずかしい思いをしました。さて、会場の



佐藤さん



武松さん

横浜資源化協議会賞



選考委員会特別賞



港南台第二小学校 4年 佐藤あつぎ  
8月27日 水曜日 天気 雨/晴れ  
ぼくの服がきつくなった時は、まずぼく  
なつてしまった服とまだきれいで着られる服  
に分けます。  
ぼろいのは、げんかんのゆかをふいたりく  
つよこれを取るのに取っておきます。また  
着られるのは知り合いの家のまあとくに送っ  
ています。  
この前写真がときました。ぼくよりにあ  
つてました。

三ツ沢小学校 5年 古沢 神  
8月12日 火曜日 天気 晴れ  
私の家では一週間ゴミをしゅう集に出さな  
い実験をしました。なぜこのような実験をし  
たかという、どんなにゴミの量がふえても  
しゅう集に出してしまえば気にならないから  
です。  
ゴミをためて一週間たちました。ゴミがふ  
えておき場もなくなり生ゴミからはいやな  
においがしてきます。そのゴミの中にはファ  
ーストフードのゴミやおかし包装紙もありま  
した。ファーストフードのゴミやおかし包  
装紙などは始めから買わなければ「ゴミもま  
せん」。  
私は今まで口では「ゴミをへらそう。」と  
言っていたけれどこの実験をやってみて本当に  
「ゴミがふえると困るな。」と実感しました。  
これからは「ゴミになる物は始めから買わない  
ようにしたりリサイクルをして気をつけたい  
です。」

## ポスターコンクール 入賞ポスター決定!



小学生低学年の部  
市立藤塚小二年・五味奈津子さん



小学生高学年の部  
市立笹野台小五年・田原恵莉香さん



中学生の部  
錦台中二年・大野洋子さん

毎年市内の小学生と中学生を対象に、夏休みを利用して行われている環境事業局のポスターコンクールが、今年はテーマを「ヨコハマはG30～ごみ減量・リサイクル、ポイ捨て防止」として実施されました。市内の小・中学校234校（小学校191、中学校43）から2,090点（小学校低学年378、高学年960、中学校752）の応募があり、審査の結果G30最優秀賞3作品、G30優秀賞6作品、G30賞30作品、佳作109作品の合計148作品が入賞しました。

10月25日（土）には横浜市長公舎でポスターコンクール入賞者の表彰式が行われ、G30最優秀賞、G30優秀賞、G30賞の39名が表彰されました。

G30最優秀入賞者は、小学生低学年の部が、動物や虫たちが分別に一生懸命な姿を作品に描いた、市立藤塚小二年・五味奈津子さん、高学年の部が市立笹野台小五年・田原恵莉香さん、中学生の部が錦台中二年・大野洋子さんの三人です。

どの作品もみずみずしい感性と豊かな色彩で描かれ、子どもたちのごみの減量・リサイクル、ポイ捨て防止に対する真摯なメッセージがこめられています。

## ヨコハマはG30事業系ごみの分別・リサイクル強化が 12月1日より始まります。

横浜市では「ヨコハマはG30」を合い言葉に、市民・事業者と行政が一体となつてごみの削減とリサイクルに取り組んでいます。すでに10月からは、G30プランによる家庭ごみの分別収集が、市内18区のモデル地域で始まっています。平成17年の4月には市内全域で実施される予定です。

事業ごみについても、市内の事業者に分別の徹底と資源化の推進を強力に働きかけていきます。現在焼却工場で処理されて

いる事業系ごみのうち、木くず・紙類・プラスチック類等について、民間の資源化処理施設等へ誘導し適正処理を推進します。

具体的には…

- 産業廃棄物である「建設木くず等」は、焼却工場での受け入れを停止します。
- 資源化可能な「古紙類」は事業者が種類ごとに分別することを推め、資源化ルートへ誘導します。

なお、事業系ごみの中に、資源化可能な古紙が多量に混入している場合は、焼却工場への搬入をお断りします。

- 産業廃棄物であるプラスチック類は適正に処理することを推めます。

### ●問い合わせ

横浜市環境事業局 事業系ごみ対策課  
TEL 671-3818 FAX 663-0125

よこはま白書

# ヨコハマはG30の

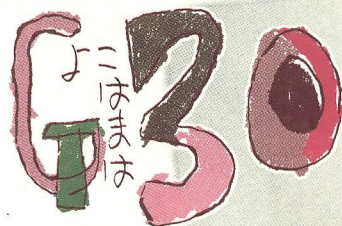
# ロゴマークとマスコット が決定しました!

横浜市では、市民や事業者の皆さんにG30行動(ごみの減量・リサイクル行動)を呼び掛けで行くためのロゴマークとマスコットキャラクターを募集しました。6月1日～7月31日までの募集期間にロゴマーク538点、マスコットキャラクター939点の応募がありました。

柳原良平さんを委員長とする審査会で、ロゴマークは市立藤塚小学校4年生の野寄稔さん、マスコットキャラ

クターは福岡県在住の吉永高規さんの作品が選ばれました。これだけ多数の応募の中には、市内の小中学校からクラス単位での応募もあり(全10校)、1クラスで50点も応募してくれた小学校もありました。

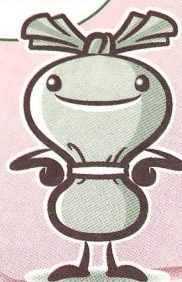
採用された作品は、横浜市の発行する(G30の)パンフレットやその他の広報印刷物に掲載するほか、イベントなどでも活躍する予定です。



## ●作者コメント

野寄 稔さん  
(市立藤塚小学校4年生)  
予想していなかったの、うれしいです。僕のロゴを見て、横浜のごみを減らしてほしいと思います。

僕はへら星人  
「ミーオ[G30]」!  
「ヨコハマはG30」  
をよろしくね!!



## ●作者コメント

吉永 高規さん(福岡県)  
ごみ袋をモチーフにして擬人化し、ごみの削減=ダイエットという発想から。ウエストの引き締まったスマートで健康的なイメージのキャラクターにしました。  
「横浜G30プラン」の目標達成に、少しでもお役に立つことができれば、うれしく思います。

## 完成しました! 「いいね!横浜G30」(G30テーマソング)

6月1日から7月31日までに、全国から286点(市内253点、市外33点)もの応募のあった、「G30テーマソング」が完成しました。

大賞に選ばれたのは、大阪府在住の駒井瞭さん。

作曲は、横浜市中区出身の「クレイジーケンバンド」の横山剣さんの協力をいただきました。

横山さんは、歌詞の選考と歌も担当しています。明るく軽快なリズムにのせて、「いいね!横浜G30」はあなたの町にごみ減量・リサイクルを歌いかけます。

歌詞

ごみをそんなに 捨てないで  
知恵と工夫で 見直せば  
夢も大きく ふくらんで  
希望明るい 朝を呼ぶ  
いいね横浜 いいねG30(ごみゼロ)  
いいね横浜 いいねG30(ごみゼロ)

1番

ごみをもっと 減らそうぜ  
技と力の 腕くらべ  
一人ひとりの やさしさが  
暮らし豊かな 明日を呼ぶ  
いいね横浜 いいねG30(ごみゼロ)  
いいね横浜 いいねG30(ごみゼロ)

2番

## 柳原良平審査委員長のコメント

今回のような審査で大切なことは、「これまでに他にない、デザインを選ぶこと」です。

ロゴマーク部門では、大賞の野寄稔さんの作品は、全作品を見て廻った時に一番印象に残りました。小学生の作品ながら、素朴さだけではなく、カタチや色など大変独創的で、これまでにないものを感じました。

マスコット部門は、ごみバケ

ツやごみ袋をモチーフにした作品が多く、その中から面白いものをいくつか選び出しました。吉永高規さんの作品はわかりやすく、かわかったため選びました。

ロゴマークのように、小学生の作品が選ばれたことで「ヨコハマはG30」がより一層、市民の関心と呼ぶことになるのではないかと期待します。

## リサイクル掲示板

### センターリサイクル

#### ●12月7日(日)

・青葉区  
センターリサイクル  
環境事業局  
青葉事務所裏駐車場  
時間: 午前9:30～12:00  
※雨天実施  
回収品目  
新聞、雑誌、雑紙、  
段ボール、牛乳パック、  
繊維類、小物金属、  
リターナブルビールびん

#### 問い合わせ

環境事業局青葉事務所  
TEL 975-0025

#### ●12月7日(日)

・泉区  
センターリサイクル  
環境事業局  
泉事務所構内  
時間: 午前9:00～12:00  
※雨天実施、車で搬入可  
回収品目  
新聞、雑誌、段ボール、  
紙パック、古着、古布、毛布、  
カーテン、着物、酒びん、  
ビールびん、アルミ缶、  
スチール缶、小物金属

#### 問い合わせ

環境事業局泉事務所  
TEL 803-5191

#### ●12月13日(土)

・センターリサイクル  
inせや  
瀬谷区  
二ツ橋公園  
時間: 午前9:00～12:00  
※雨天実施、車で搬入可  
回収品目  
新聞紙、雑誌、段ボール、  
紙パック、古着、古布、  
毛布

#### 問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所  
区役所ごみゼロ推進担当  
TEL 367-5699

#### ●12月14日(日)

・かながわ  
センターリサイクル  
神奈川区 反町公園  
(神奈川区役所側)  
時間: 午前10:00～午後1:00  
※雨天実施  
回収品目  
新聞、雑誌、段ボール、  
牛乳パック、古着、古布、  
白色トレイ、  
リターナブルびん

#### 問い合わせ

エコライフかながわ  
TEL 413-3196

#### ●12月21日(日)

・旭区  
センターリサイクル  
環境事業局  
旭工場内  
時間: 午前9:00～12:00  
※雨天実施  
回収品目  
新聞、雑誌、段ボール、  
紙パック、繊維類、  
リターナブルびん、アルミ缶、  
スチール缶

#### 問い合わせ

環境事業局旭事務所  
TEL 953-4811



会場の女子

お友だちで「うちではこんなことをしているよ」ということを発表してくれる人、いませんか。

**会場の女子①**：よく、

お父さんが、会社で失敗した紙を持って帰ってくれるので、それを計算用紙やお絵描きに使っています。

**会場・父母**：最近思うのが、売るほうの立場からごみをもっと減らすべきでは、ということです。包装紙やラッピングの材料をリサイクルしたり、事業者の方も努力してほしいと思います。

**山本**：売る側もけっこう工夫していますよ。横浜市はスーパーなどと話しあって、そういったものを減らす点で合意しています。でも、お店は客からの苦情が怖くて強いことを言えないのが現状です。どちらかと言うと、今はまだ買う側の問題が大きいようです。



湯澤さん

## ● ごみ処理施設の見学はぜひ親子で ●

**武松**：4、5年生は学校の勉強で、いろんな公共の施設を見学していますね。どんなところへ行きましたか。

**湯澤**：4年生の時、ごみ焼却炉を見ました。5メートルの高さにごみがたまっていたので、減らさなければと思いました。

**杉山**：私も4年生の時にごみ焼却場に行きました。たまったごみをクレーンで運ぶ様子を見ていたら、何年かかっても終わらないような気がして、びっくりしました。

**坂森**：ぼくは4年の時に浄水場に行きました。汚い水がたまっていただけで、いろんなことをしたらだんだんきれいになっていきました。

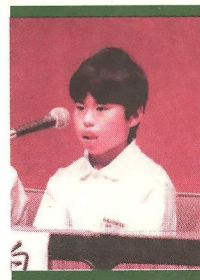
**山本**：下水処理場から出てくる水は確かにきれいに見えますが、実はあの水は、そのあと川を流れていくうちにもっときれいになる、という前提で処理されているんです。飲めるほどきれいにするのも可能ですが、ものすごくお金がかかるので、川の浄化力をあてこんで

いるんです。

ところが今の川には水をきれいにする力がない。だから、下水処理場に頼らざるべく水を汚さないで、そして節約する必要があります。

**武松**：会場のお友だちや父母のみなさんで、ごみの処理施設を見に行ったことがある方、手を挙げて下さい。

**山本**：あれ、少ないなあ。じゃあ、一度も行ったことが無い方……。 (挙手多数) おお、こういうのは珍しいですよ。他の町で尋ねると、ほとんどの方が1回ぐらいは見学しています。横浜市はちょっとPRが足りないのかな。(ごみ焼却場に併設している) プールなんかは行くんでしょ。これからは、見学しないとプールに入れない、とかね(笑)。



坂森さん

## ● 未来の横浜は、こんな町に…… ●

**武松**：さて、最後のテーマです。パネラーのみなさんは、横浜をどんな町にしたいですか。

**杉山**：他の県や外国の人に、きれいで自慢

できる町にしたいです。

**湯澤**：10年後には、ちゃんとG30を達成できた町になっていたいです。

**坂森**：輝ける町にしたい。

**古澤**：G30が、あたりまえの町になると良いと思います。

**武松**：会場のみなさんはどうですか。

**会場の女子②**：ゴミの収集車も、1年

に1台ずつでも減らしていったほうが良いと思います。

**武松**：ごみを集められなければ、捨てられないものね。自らに辛い状況を与えようという厳しい意見ですね。

**会場の男子**：うちで飼っている犬はさんぽの時、いつも落ちていたペットボトルやカンを持ち帰るんですが、そん



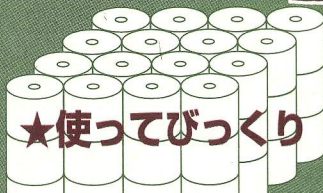
杉山さん

びっくり その1

リサイクルボーイ・トイレtpーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

トイレtpーパーは再生紙があたりまえ。だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

### リサイクルボーイ トイレtpーパー



★使ってびっくり

びっくり その2

手にするとすっすり重い。それもそのはず、ふつうのトイレtpーパー(シングルで60m)の2倍以上の長さ(130m)です。「使っても使ってもなくならないんですね」との声も寄せられるほど(もちろんいつかはなくなるけど)。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。バージンパルプのティッシュよりお肌にやさしい! 愛用者の某リサイクルデザインの関係者いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレtpーパーだと大丈夫なの」(実話です)。

注文受付は1ケース(48コ入=6コ入りパック×8)より1ケース 3,360円(配送料込み)

※消費税・振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得!

●ご注文・お問い合わせは  
横浜市資源リサイクル事業協同組合  
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050

シングル芯なし130メートル1パック(6ロール)あたり価格420円



なカンなどをなくしたいです。

**山本**：リサイクルする犬なんて、りっぱだね。犬といえば、うちでは愛犬のえさは残り物で作ってやっています。冷やご飯に、野菜の

切れっぱしや安い肉なんかを混ぜておじやにしてね。専門家も太鼓判を押してくれたほど犬にとって良いし、生ごみが減りますよ。

**武松**：まだ一部ですが、横浜市の学校給食の残さではブタの飼料を作っています。

**山本**：ハマポークですね。まだスーパーなどに並ぶほどたくさんではないけど、

とってもおいしいお肉ですよ。

**武松**：残念ですが、そろそろ時間がなくなってきました。最後に、少し今日の感想を聞かせて下さい。

**坂森**：ごみを減らすために、みなさんがいろんな発言をしてくれたので、これからもG30行動が続けられそうです。

**杉山**：他の人の意見も聞けたし、これからもG30を続けていこうと思いました。

## 第2部

# 環境絵日記発表会・表彰式 発表！ わたしたちのG30行動宣言

休憩でほっとひといきついたパネラーの6人は、今度は一人ずつスポットライトを浴びて作品の日記を読み上げました。壇上での緊張もうかがえないほど、みんなとても落ち着いた様子。第一部で自信がついたのでしょうか。スクリーンに映しだされる絵に、会場からは感嘆の声が上がります。そんななか、順番に賞状と副賞が手渡されました。

### 受賞者名

|               |              |
|---------------|--------------|
| 横浜市長賞         | 坂森 渉平さん      |
| 横浜市会議長賞       | 天野 恵美香さん     |
| 横浜市環境事業局長賞    | 今村 絵理さん (欠席) |
| 横浜市教育委員会賞     | 杉山 都さん       |
| 横浜資源化協議会賞     | 佐藤 敦樹さん      |
| 環境絵日記選考委員会特別賞 | 古澤 禅さん       |

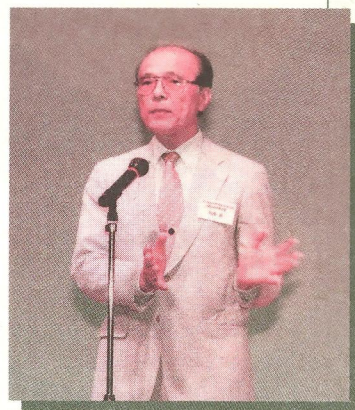


坂森さん 天野さん 湯澤さん 杉山さん 古澤さん 佐藤さん

## 総 評

### 選考委員代表・丸茂 高さん

今年は横浜市のG30のスタートの年ということで、テーマはこれに絞りました。応募総数は年々増えていますが、今年は3175点。選考委員12名が検討を重ねた結果、これまで6点だった優秀賞に選考委員会特別賞をひとつ加え、7点にしました。それほど、力作ぞろいだったんです。さて、その中身ですが、ごみを減らすにはどうしたら良いかが具体的に表されています。いらぬものは買わない、使ったものを他の用途に再利用できないか、といった本質的な点をとらえて、小さな子どもたちが応募している。将来、とっても明るいぞ、という気持ちになりました。今年は江戸開府400年。便利さを追って環境をだめにして現代人は、江戸時代の暮らしに学ぶべきところがたくさんあります。今日の発表をしてくれた子どもたち、そして環境絵日記に参加したおおぜいの子どもたちがそういった歴史を学び、現状を見つめてくれたなら、すばらしい社会ができるのではないのでしょうか。



発表！

# わたしたちのG30 行動宣言

横浜市資源リサイクル事業協同組合  
第9回 リサイクルデザインフォーラム  
子ども環境会議 & 環境絵日記展示・発表会

お話の後、会場を埋めた入賞者と受賞した6人が、一斉に壇上へ上がりました。その数およそ100名。いったい何が始まるのかと言えば、そう、G30プラン実現へ向けた行動宣言です。会場に、元気な声が響き渡りました。

『みんなで工夫して、よそに負けないきれいな横浜を作ろう、オーツ』



## 閉会のあいさつ



毎年、たくさん子どもたちから多くのことを学ばせてもらい、感謝に耐えない気持ちです。私たちはみなさんとともに、横浜をより良い町にする努力を続けていきます。子どもたちの将来に向けて、横浜を愛、夢、希望の持てる町にするのが私たちの願いです。本日は、長い時間お付きあいいただき、誠にありがとうございました。

横浜市資源リサイクル事業協同組合  
フォーラム実行委員長・栗原 清剛

牛乳パックから生まれた紙ひも



こむすび  
**小結くん**

で  
古紙をしばればまるごとリサイクル



お申し込み  
お問い合わせ  
横浜市資源リサイクル事業協同組合  
TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

| 1巻きの長さ90m      |      | 価格                   | 送料                   |
|----------------|------|----------------------|----------------------|
| バラ売り           |      | 1巻250円               | 1~6巻400円<br>7巻~ 600円 |
| 箱売り<br>(1箱50巻) | 1~9箱 | 1箱11500円<br>(1巻230円) | 価格に<br>含まれます         |
|                | 10箱~ | 1箱 9500円<br>(1巻190円) |                      |

**小結くん販売場所**／●横浜市緑区・中区・都筑区の区役所  
売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふれあい戸  
塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニ  
ティストアすずきや(戸塚区) ●エコロジーショップエッセンス  
(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生  
麦4-10-17)  
販売して下さるお店募集中！



# RECYCLE Design

## リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

## ●リサイクル標準価格表

2003年10月現在  
日経 10/30

| 品名        | 買入価格<br>1キロ当たり | 業者の売値<br>1キロ当たり |
|-----------|----------------|-----------------|
| 新聞        | *** 0円         | 6~6.5円          |
| 雑誌        | ** 0円          | 3円              |
| 段ボール      | ** 0円          | 3.5~4円          |
| 衣類くず      | ** 設定不能        | 0~1円            |
| アルミ缶      | **** 10~15円    |                 |
| 小学校アルミ缶回収 | 40~60円         |                 |

\*集団回収には「買入価格」を適用 \*\*有料

\*\*\*有料の場合あり\*\*\*\*スチール缶と選別済の価格

★500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

★小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。

## INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION INFORMATION

### 別冊リサイクルデザイン『リサイクル今とむかし』は 11月25日発売

今年は「江戸開府400年」の年です。江戸時代に関するさまざまなイベントが開かれています。

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。今回、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊「リサイクル 今とむかし」を発刊します。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

詳しいことは月刊リサイクルデザイン編集室まで  
TEL 045-316-4050 FAX 045-316-6050



価格 350円 (税込)

フルカラー24頁

※送料は別料金になります

### 「リサイクル教室」 出前講師を派遣します

「新聞はトイレトペーパーに生まれ変わるの?」「いつからリサイクルは始まったの?」「リサイクル教室」では出前講師が、さまざまなギモンについて話をします。リサイクル組合では、地域や学校などのご要望に応じ、出前講師を派遣します。ご希望の方はぜひご相談ください。

問合せ TEL 045-316-4050  
出前講師派遣状況

| 日時    | 対象                        |
|-------|---------------------------|
| 9/24  | 南永田・山王台地区消費生活推進員及連合町内     |
| 9/24  | 聖母の園 老人ホーム                |
| 10/7  | 磯子区 区民講座「わたしの暮らしと環境PART2」 |
| 10/15 | 栄区 飯島小学校 5年生              |
| 10/18 | 緑区 環境事業推進委員               |
| 10/24 | 青葉区 環境事業推進委員              |
| 10/30 | 青葉区 藤が丘小学校 PTA            |

### 編集室から

「海や川の水はともきれいで、子どもたちは水と遊んでいる。夜には、星が降るように見える。《中略》30年後の神奈川では、人々は自然の循環に配慮した暮らしを楽しみ、持続可能な社会に向けた歩みを続けている。」  
(新アシエンタ21かながわより)

地球と共存する社会にするためには、何をすべきなのでしょう。私は11年前の地球サミットで、12歳の少女が世界の首脳たちに向けたメッセージの中にヒントある気がしました。少女のメッセージは次の言葉で終わっています。  
「あなたたちはいつも私たちを愛しているといえます。しかし、いわせてください。もしそのことがほんとうなら、どうか、ほんとうだということを行動でしめしてください。」

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

### 月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル(鶴見日新ビル2F) ●グリーンバザール(南区六ツ川) ●ブックショップふれあい戸塚店(ダイエー横)・大船店 ●地酒 篠原屋(港北区篠原) ●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ●損保ジャパン横浜支店 ●東京ガス環境エネルギー館 ●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いすみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・金谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いすみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ●マイカル天王町サティ ●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ●まじょらむ(港北区綱島) ●カフェ杜(港北区日吉) ●きまま舎(緑区霧が丘) ●うどんカフェ(青葉区こどもの国) ●横浜国際ホテル(西区南幸) ●さくら歯科クリニック(オーケー港北ニュータウン店2F) ●リサイクルショップ「トロワの森」 ●横浜国立大学生協同組合大学会館店・工学部店 ●神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町)

### 月刊 リサイクルデザイン No.111

発行日: 2003年11月25日 発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合  
発行人: 秋元康男 〒220-0005  
編集人: 工藤健一 横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階  
編集室: 戸川孝則・竹澤留美 TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継  
杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛  
栗原清剛・大内 敦

制作: (企)エコ・アド  
印刷: オリジナルプランニング

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

